

かしわら見張り番



代表 はまうら佳子

〒582-0026
柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号
電話 072-977-5502
FAX 072-977-8782

一人ひとりが行政の見張り番になって 政治を市民にとりもどそう

柏原市議員・濱浦佳子氏、奈良県議会議員・阪口保氏と

「市民による政治監視の重要性」を熱く語る

このほど、柏原市議会議員・濱浦佳子氏と奈良県議会議員・阪口保氏が対談し、市政のあり方、市民が市政に参加する重要性を話し合った。

柏原市探石場跡地にスポーツ施設!? この財政難になぜ?

濱浦 阪口さんは、生駒市で「市民オンブズマン」して、数々の市政の不正を正してこられましたね。

阪口 まず、土地問題です。生駒市の場合、U会社が所有していたあまり価値のない山林を、「土地開発公社」という隠れミノを使って宅地並みの評価をさせて市が「総合スポーツ公園」という名目で購入、市長が謝礼として1000万円を受け取り、2年8カ月の実刑判決を受けました。

阪口 保氏プロフィール
奈良県議会議員。市民オンブズマン「見張り番生駒」代表幹事として生駒市前市長の不正を暴き、生駒市から県議会選挙にトップで当選。県では議員報酬の削減を可決させ、公共工事談合訴訟で勝訴するなど、市民のための政治を貫いている。

た。こういうことが、あちらこちらの自治体で起こっている可能性があります。柏原市でも同様のことがあるといわれています。柏原市の旧「森組探石場」跡地に、スポーツ公園としてサッカースタジアムを整備するという計画が持ち上がったんです。土地を「柏原市土地開発公社」が先行買収するために柏原市が連帯保証人となり、将来、市が買い戻すというのですが、これにも数億のお金で、一部の市の関連人物に不正に流れているというわがさが持ち上がっていました。「市土地開発公社」という点で、生駒市の場合とやり方が酷似していますね。

※市民オンブズマンとは…行政に対し正しく政治が行われているかを監視する活動人のこと。
談合や不正入札で得たお金は「泥棒」と同じ、市民はもつと怒るべきだ

阪口 建物、施設の入札でも不正が行われることが多いです。これに関して市民はもっと監視していかないとはいえないと思いますよ。随意契約が一番怪しいですが、指名競争入札に目を光らせていかなければ、市の関係者が情報を流しているという

ことも考えられます。業者の指定を一切しない「一般競争入札」や「電子入札」を増やしていくべきです。濱浦 柏原市民病院の機器導入でも、昨年、大阪府警の捜査が入りました。談合や不正入札で得たお金は「泥棒」と同じ、市民はもつと怒るべきです。

阪口 若手の山下市長が就任してから、私たちと連携して新しい市政をすすめています。前市長は逮捕されましたが、その爪あとが残っています。議会にもいろいろな議員がいますので、これからもずっとこの活動を続けていかなければと考えています。

人口減少で税収は減る一方、ならば支出を減らす!

阪口 少子高齢化で人口が減っていつにわたるわけで、税収（歳入）には当然限界があります。ということは歳出を減らすしかない。一般家庭のやりくりと同じ、収入が少なければ、節約するしかないわけですね。

濱浦 阪口さんらのオンブズマン組織「見張り版・生駒」は、市会議員の定数と報酬にかかわる条例改正案を直接請求され、12.3%（市議一人あたり年間約111万円）の報酬削減を実現されていますね。

阪口 30%の削減を求めたのですが、通りませんでしたし、定数削減の案もだめでした。しかし、これからの地道にこの活動を続けていこうと思っています。

濱浦 柏原議会でも人口の割合からいうと、議員定数・報酬が多いとも言われており、その根拠がはっきりしません。柏原市では、現在、全議員がその問題で検討会を開いておられます。削減も大きな問題ですが、今後、地方分権と言うことで、地方議員の資力が問われるようになり、官僚達に負けないように、あらゆる面で知識が必要になっていくのではないかと考えております。

私も市議でありますので、定数と報酬の削減等に取り組んでいくつもりです。そして議員の責務として談合などの不正を徹底追及していく覚悟です。柏原市にも個人でオンブズマンの活動をされている方がいます。もっと広がって、組織ができるぐらいになってほしいなと強く感じています。今日はどうもありがとうございました。